

いわて県連だより



自民党

【第87号】 発行日：2025年12月 発行責任者：自由民主党岩手県支部連合会

立党七十年記念 政経懇談会開催

令和七年十二月十四日、盛岡市内にて、立党七十年記念政経懇談会を開催しました。

当日は、県連会長であり自民党幹事長の鈴木俊一衆議院議員より、「衆参両院で少数与党という状況の中であっても、野党との話し合いを重ねながら、責任ある政治を進めていく。」との挨拶がありました。

また、党本部総務会長の有村治子参議院議員からは、「現在、岩手県選出の自民党国會議員は一名であるものの、今後は力を合わせ、さらなる議席の拡大を目指していきましょう。」と力強いお話をされました。農林水産大臣の鈴木憲和衆議院議員からは、「将来にわたり安定して持続する農業を築いていく。」との挨拶をいただきました。

足元の悪い中、会場には多くの支援者の方々にお集まりいただき、誠にありがとうございました。



十二月十一日、青年局北海道・東北ブロック会議が花巻市内にて開催されました。本年の活動報告を行うとともに、来年の活動方針においては学生部設立に向けて全国で力を入れていく旨が示されました。青年局は常に党の最前線（ファーストペーパン）として、党本部・各道県が連携を図つて共に活動し、情報発信力向上や情報共有等、地域の声をいかした活動を今後も行つていいくことが話されました。今後も活動や行動で示し、党本部・各道県の青年局が一丸となつてまいります。



【青年局】 北海道・東北ブロック会議

みんなの横顔⑯

岩手県議会議員
はぎの 幸弘さん



私は県議のほか縫製工場を経営しています。従業員は110名程度で、アパレルメーカーの依頼を受け、紳士ズボンを主体に受注生産しています。

現在の悩みは人手不足。それを補うために外国人実習生制度を活用していますが、この制度も今後は育成労制度に移行する見込みですので、一層社員不足に拍車かかる恐れもありますが、あらゆる可能性にチャレンジして、社員の定着化と生産性の向上に努めたいと思っています。

十二月十五日、自民党岩手県連は令和八年度診療報酬改定をはじめとする六項目について、自民党本部、厚生労働省、財務省に要望を行いました。小林鷹之政調会長からは、「地方の医療のあり方は危機的状況にある。地域医療をしっかりと支えていけるようにする。」との力強い言葉をいただきました。

その結果、診療報酬改定率は近年にない水準での引き上げに向けた調整が進められており、一定の成果が見え始めています。また、国際リニアコライダー（ILC）についても誘致実現に向けた支援を強く要請しました。



診療報酬改定・ILC誘致に関する緊急要望活動



十二月二十一日、仙台市内にて女性局北海道・東北ブロック会議が開催されました。党本部女性局長山本佐知子衆議院議員もご出席され、会議では、各道県より令和七年の活動報告を行い、女性議員の育成や登用に関する取組状況などについて意見交換を行いました。他県における先進的な活動や工夫に触れることができ、大変充実した有意な会議となりました。

また、翌二十二日には宮城県連と合同で仙台市内で街頭遊説を行いました。今回の会議で得られた学びを参考にしながら、今後、岩手県連女性局としても、さらなる活動の充実に努めてまいります。

【女性局】 北海道・東北ブロック会議

